浦縣城を確保、城内に日章族は旭光を洛びて耶翻と飜へつてゐる

8つて左の如く公布された 歌音召集解費は十日官報を『東京記録』第七十三連常

上海九日同盟【後間部隊は九日午後六時虹橋鎮を完全に占領して南方の錢家衡方面に向け敵を急追中である

虬橋鎭を完全に占領

ででで、本府は昭和七年以来全が作興に関する昭書の御越旨を へ正天皇の楽陵し給へる國民組

正士手目

平府部書奉讀式に於て南總督は次

ん事を切望

國民精神作與の實を

方針ヲ宣ブルニ先ヅ國體ヲ明徴ニシ駩國予鎭ニ大命ヲ拜シテ朝鮮ニ蒞ムヤ施政ノ

B時に進し半島全民衆の糖ふべき道を宣明し、左の如き

私共へ忍苦鍛錬シテ立派ナ隕イ國民トナ

堅忍持久長期の試鍊に耐ふるの **覺悟を固くせざるべからず** 

以ノ努力ニ候テリ爾米趣向益定マリ効果

具ニ著ハレ以テ日進會通ノ運ニ乘ジ日新 試錬ニ耐フルノ覺悟ヲ固クセザルベカ克ク事態ノ鯖護ヲ明察シ堅忍持久長期師ヲ深ク支那ニ進ム時局眞ニ重大國民 立ノ國是ニ隨ヒ異常ノ決意ヲ以テ膺懲念剛健ヲ加ヘタリ今ヤ帝國ハ東洋平和念剛健ヲ加ヘタリ今ヤ帝國ハ東洋平和・張ノ期ヲ啓キ人心ハ益質質ニ赴キ民風 ニシテ萬邦無比ノ國體ニ基スル所幸ニヲ収メザルナシ是レ即チ皇國精神ノ殺ノ意思ヲ以テ之ヲ克服シ國家興隆ノ成 ヲ忘レ公ニ峯ジテ怠ルナクンバ時

聽內官民宜シク深沈心ヲ練リ旦タ之ヲ勗

半島人の覺悟

**心様の猛襲に松江方面より退却中** 

設引揚げ

ルードリポ

N 1/125 X Y28-00

は品良 界 しり誇の者有所

蓄

雸

N事 上提 二型

M

艓

大西洋上で実加紙玉

果敢なる爆撃

けふ公布さる

各參議會同

0

ドーコレ

ラチオ東川

--四百五十四 

店噐

X中二三五年

九日は内閣会議の定

一般に行戦を加へ之を観め中であ一神縣城の保証を〇〇に及て遮断

・観ぐの他多数の武器を協携した。 原南方二十里)を占領、機関車二 の上の、九日午後三時達に同縣(女

り出走せる瞬に独立を加へつくあり進撃せる我が保本部隊に大谷より進撃であれが保本部隊に大谷よ「百家莊丁日同盟」正太恒方面よ

[4][4]

Carry F To the H The H

店

i\*

ifij

D

蝶

\*#

今復茲ニ國民精神作興週即ヲ設定シテ平 ラズ是レ製ニ予ガ諭吿ヲ發シテ一般官民

**哲駒ヲ促シ各種施設ヲ强化スルト共ニ** 

局長會議を通じ 製したことを第一番に自昼せね ばならぬ、即う世界五大陽関は 現在では世界六大陽関は ばならぬら 別。使、米、英、 能がこれである。日、別、伊の 三個情典協定成立によって特に 六大陽関はこ、に持たざる関と 持つ関との間に明に對立の形参 を作つた 大戦 後の世界の大勢は1 行くべき道を明示

ただし蘇聯は大天騒咳中 て日獨伊三國間に親印を了した

ので、我が飛行隊は十日朝來これ

・極々信見の交換を遂げ午後一

ノアビ葉山

らか内の様子師は養教の様常

の一界世に共貨名

各門館と午签を共にしな

職議の版音を持ち近衛 漁球電)が正午「首相官脈

本府辭

令

の一界世に次

\* 千百五十回

'n

+

ッ 音 ミ ラン は 数 数 数 な

屆 

蓋を切って太原城に突入した我 が軍は流温に最後の抵抗を試み し肚烈が市徳戦を展開、敵の反

に入日午後衛生協力 絶攻撃を 州河に精之徹の重要撮影江橋館 齊に連繫・遂に上都

入り虹橋・七愕頭の歌を職保して

追蹤中で北進する上陸三域と南

戦器に亘つて空前の反復大連監 山為太郎 (兵庫縣) 岡崎小隊 遙占領

の概を急追しず遊(獲石東北方丁 「福を急追しず遊(獲石東北方丁

り之を完全に出版し、川以野中の岡等騎兵の歌は 武党々入城した。全人

た際は西南方に敗北中

**郝縣占領** 本部隊

蓄 音

-40刺Y45,00

タタ に 、同副の 夜長 に味趣御な尚高 器

ドーコレ

readi !に庭家御に校學 !にめたの育教董兒

器音音 ドーコレ

ru i

14 14

L52#\$\$55.400

विविच विविच्यानीने स F

M

(圖)同谷水三男、同位 市)周磯井房太郎(同) 「和歌山)上等長井內敦 (和歌山)上等長井內敦

しめ低の後方を提配せし、これを示く場 戦死者(理党)於

Į

あるべからず

所以なり

□整種するでう布書を發した
 □たいたり南市方面居住一般市路(学校大兵が重赦の如き保安隊)
 □たいたり南市方面居住一般市路(学校)
 □ため非常の最神と変に方地監察を一章水兵が重赦を保安隊
 □ため非常の最神とないずき保安隊
 □ため非常の最神とないずき保安隊
 □ため非常の最神と返げた場所で
 □ためまでは、

行場を占據急追中であるが、虹積

图 副邮经管层では十月配左の如人 主 市の现金をた を 財産の関金をた を 大野の事 宮 木 任土谷芸術園及 増 永 正 一 任土谷芸術園及 増 永 正 一 任本格報報 日 等 土相地方法院長 土相地方法院長 土相地方法院長 土相地方法院長 土相地方法院長

品製るきで心安

¥37,.60

四人出張(北日本汽船社長) 一典氏(土建協合長)十一 埋氏(土建協合長)十一 四人出張 ンガルオ葉山

樂音に庭家

器樂口山~

は史服き古の年十五











皇軍の人道的行動 南市の手前で前進を止む

【上港九日周盟】 我是各部隊は相 | に至つた、この南市は従来安部正 | んで居るので、墓事はこの無辜の | のピラを市中に撤布し替告を竣す | 前途を止めて居るのは一に軍が住

在 (大阪 南船取洋郷 大阪 (大阪 南船取洋郷 大阪 (大阪 南船取洋郷 大阪 大阪 南船取洋郷 大阪 大阪 南船取洋郷 大阪 大阪 南船取洋郷 大阪 市船取洋郷 大阪 市船取洋郷

「関臣民の評詢供論を

ことは生活を解平的 久永は用使・時 を品製的界世(なび迷おは正撰師の噐樂 外內管

**神音樂圖書** 外ヴァイオリン 賭樂器 粒樂 風 附 圏 器 琴 <u>,4</u>











住民を保護するため

まで此の原盤の音を収むることで地の原盤の音を収むることで心機一轉、綿然改悟せしむるをした。彼等をした。

来上海に於行う支票人類で統に事 自己を機構から数ふため支票軍隊(は軽易なことであるが我を追続はてあたのである、然のに南市は元 かに南市を差却せよ、南市住民は、成した、泉軍に支那軍の光を接流はとしてあらいる統日運動を行つ、妻での民戦を数ふために一別も遇 拓工作をほかり既に包御投票を完める。 の一部には南市の一部に入り政を制設な統百分子が出席を領事 一九を市市を差却せよ、南市住民は、成した、泉軍に支那軍の一部に入り政を制設な統百分子が出席を疑して「南市の平和的開設を設めてある。然の一部には南市の一部に入り政を制設な統百人子が終着して上帝北部戦級に對 住民を職文法権から数からため支票軍隊(は軽易なことであるが我を追談に対する。

て一日一回駅心鉄街 提ぶ拜、毎朝の間智 一はお買

**88** 月**丁二路翻城京**] A 八四(3)光,近) 六六七二二京加

樂 樂口

用市を午後以後攻撃

際比海既に我宝中に入る

店

かいもく姿を見せぬ・計時頃になると道路

てに津天 員派特田宮

は造貨幣に

內科一般特=

三王皇」ダイアド黒線赤柳型第三十十

紫色

前本**刺名是** 星的即二大并畏 **諂** 

竹旗牌。杨本县。京城

陽・感光網

質別撃を試み厳に多大の抵黙を異へ四時半には完全・

傷したが氣丈な彼は一何これしきの事

完服の誓ひ

一府前で嚴肅な詔書奉讀式

晝食は握り飯に梅干

通り息軍動間の個しかある、戦人

前齡者招待

精神運動と併行し

織に進み明年度から精神運動と

に非版を極めた式楽は可八時四 | 終って校長か時局に関する調度

泉城府の精神動員





雑本プッハロー六



村野上外市里古名

### 無言の慰問使 冬迫る戰線へ進軍

で古物商盗んだ品物

陽·清海 | 京城水源町 | 一月武街地震游戏局

<sup>鼠</sup>口本勧業銀行構

店支城京社會式株券證業勧本日

イバ 維 十一日より……十四日まで ー着尺幅賣出し 個八十錢。八掛地 .... 五十五錢

於四階ホール 城 京

架會餘投作品展 サミョット

+

振替京城二大七、 南話本局四0五四

喜と感激

は、ようと、川一つ向ふの共同祖一の 如く未だ便衣 際出後の日々 自殺に失敗家出の床屋

⑤ 海軍將校艦上用助寒長靴

国国五十級 と態度付 本サクス革 ・ボックス革

接したので何四時から取進率告祭

宣病 講院 院院







単原 キゲカワ











J-02 4-28 12-15 ス ー ユ J-18 1-48 12-33 ンモロリグン 

選

代理店至急求む 华**太** 4 华 型本及契約番送る ・ 対発・ 対象を表示 细 文 靴

上海で奮戦中の松本二等機關兵から 川の母堂へ勇し

に描く旗の波灯の海

社會式株造釀鮮大

杭州灣敵前上陸部

隊·決

死

Ø

漕

十一月十一日◆賞品賞狀は例年通り◆審査員は追て發表

牛島寫眞藝術の最

高峰

結婚をして

幸福になる法

を加章は印</table-row>紙の直接展面にはって下さい。合紙にはるとわからなくなり、

ものと語研究であきらめて

◆嘉 集締切

面に参加章をはりつける事(参加章は各加入閣僚の代表者の許に送つてあります。 格は全世鮮寫異聯盟加入の食員たる事◆出品寫異には 展覽會期日【十一月十九日二廿三日】

|品叉は鍍表せざる作品に限る◆大きさキャビネ型以上◆参加||寛眞は題材)使用材料等一切自由◆公開の展覽會及び印刷物

三越ギヤラリ

市上に倒れてから更に大弱命中し【蔽、文五郎、福之寺、権助、右若、条

文字通り本薬が盛となってしまぶ。メンクの前面に投ずればメンクは 「余は余の護明のが力を質験する 朝に特許をとつて世に出すとこと いたく人々の心を動かし、彼の意 にて半銭振りに名価絹繩の大歌舞 月歌輝伎座は吉例類見世界行 東京歌舞伎座

飛ぶ昆虫!について**競表** 

空中での速に異變

部門宗の研究の野狼となつて居る|

最近プランスで『タンク課』と「緻帯し得られ微栄タンクに對して「といふ空のでき吸力を門家の硏究の對戦となつて居る「発力なるので、一人で優に監測を「交空道リ本素後駆とな

のまとでは極めて安全且つ取扱び

タンク彈の威力に注目さる

聞ければ大したものだ。初めの

光お坊ちゃんだけに、果して前 で、

てゐたところ、

また儲けたからといっ

一个船のラギオ

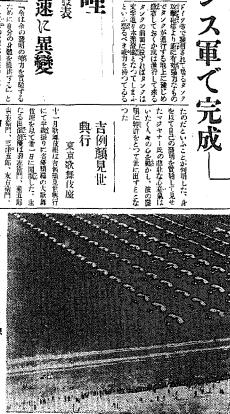
養鬼家

「これだよ。彼は、今夜、君と」

不足は

フランス軍で完成

男女職、高助、田之助、柴丘郎、



日光に代って發育多

進めるビタミンD

進めるものがある。それはビタミンDを最も多量に含むミツフ肝油ドロツブスである易くなるのである。然し茲に、目光繁発線に代つてその不足を擁ひ、冬でも骨の發育を

骨格の發育を運らせる、と共に抵抗力が弱くなつて感冒や肺炎、結核等に罹り

ンDの不足は燃やカルシウムの化骨を不能ならし

たないと同様に目光の不充分な塵や都愈の子供には背の變音不良が多く、目光の遊さたないと同様に目光の不充分な塵や都愈の子供には背の變音不良が多く、目光の遊さ かる秋冬には特に骨の殺育が遅れる。それは日光中の紫外線が少なくなる為に、身間

で遅らせる

にピタミンDが生成されず、ピタミ

とうこうじょう に、 ビタミンがと表に、 近の大手に、 近の大手に、 でタミンがとまた、 原治は少し遊びのある事が解つた。 矢張り天然の ひの方が効力が大きいのである。 その天然ので、 配治は少し遊びのある事が解つた。 矢張り天然の ひの方が効力が大きいのである。 その天然ので、 配治は少し逆びのある事が解った。 矢張り天然の じの方が効力が大きいのである。 その天然ので、 配着は少しというには、 肝神に含まれる じの外に、 近域人工的に紫外線を照射して出来る ひがあり、 同ビタミン ひには、 肝神に含まれる じの外に、 近域人工的に紫外線を照射して出来る ひがあり、 同ビタミン ひには、 肝神に含まれる じっかん

完全に無の肝臓から抽出し、乳化して\*\*の肝油ビタミンDを壊さずに、ビタミンのを増さずに、ビタミン

がに機定してあるのがミッワ

重を競響

ソロモン



社報日城京接後

## 京・麹町・内帯町、日浦経済が日滞程度(十一月號)三十段。

して抵抗力が減減し、感情を初め種々のを變して健康を害するとまし

多は保温の為に、誰でも脂肪の多い

物を食べるが、食べた脂肪が

V・Aが缺けると有害

續けて服むのが安全で且つ効果が大き か多く、而も脂肪の量が最も少ないミ

と略じ、夫婦不和の原因として 様に重要であるに拘らず、この 様に重要であるに拘らず、この 様に重要であるに拘らず、この 様に重要であるに拘らず、この

非質、外務省情報部

▲國語月報(第六號)非寶、外務

牧師マッキーヴァー師の話を聞き

小和が當前断然多いのは事實だか

の各々について主婦たるべき者の

心得を纏々さとされるとのこです

みならす、

有機鐵・キナ等を學理的に綜合してある ミンB(酢母)・ 有機燐・カルシウム・ ミック肝油ドロップスは栄養が偏らぬの が、ビタミンA・D(特許肝油)・ビタ の單純な築養劑は作用の偏々恐れがある 隔食すると虚弱になると同様に、成分 作用の偏らぬ綜合榮養劑

ビタミン人・口含量は、普通薬用肝油の ミツワ肝油ドロツブス一颗の中の――― が解り背脳に随りの無い事が知られる。るのに依つて、如何に消化吸收が良いか 入れ、微温湯を注いで雅き題せば膨くに して本部溶解し、生乳と同様の乳液とな ミッワ肝油ドロツブス一顆をコップに

—二一三(大)(F) 作伯語電・〒○- | 上自)其語標 **國南。 京東** 部品薬・底向屋見丸 錦本蔵石ワツミ〇

\*

五百(当道)同量-盃一杯)以上に相當。

消化吸收良き完全乳化劑

ツワ肝油ドロツブスを、平常 別中で一番ビタミン4の含量の病氣に冒される。 ごを防い

を選して趣服を害すると共に、一方では益々ビタミンAの総ぎを起ふを補充しなかつたら、脂肪が過多になり、有害な脂肪の分解産物機嫌する鵞にはビタミンAが必要なので、脂肪だけ食べてビタミン

電ボエソ冷給機機 ーレー凍べ 気 リベース 気 シーフ 海水 エエ エエテンエエ エエテン エエ エエテン エカカ

事事群之事事事事

١J،

一業事

務

所

電話

小

林

勇

箒

國

の

**"** 等 品

水

'n

Ŀ

醸造元

朝鮮麥酒株式會社

電話本局四七八番 京城府南大門通

本局圆三九五九

京城府本町一、アサヒビル内

建物用途

地階

食料品部、日用品部、地下市場

階

要品部、公衆電話 調劑室、 帶品預所、洋品雜貨部、化粧品 所 ッーリスト、ビユーロ 携 案内係、商品券賣場、贈答品承

建軒

突樣式

近世復興式

一〇一、九尺 八階 階

屋階迄 地上

(東西兩館附屬建物共 三、〇一一、二五坪)

地下一階、地上六階

施 支本 店店

者

ツク 工事請負

ム工事請負

名古屋、京都、大阪、福岡、豪北、大連、新京、東 京、

一釜山、奉天、鞍山、營口、哈爾濱、天津 鹿兒島、下關、熱海、橫濱、新潟、仙臺、 金澤、神戶、廣島、高松、鳥取、小倉、長崎、熊本

會株 社式 清水組京城

出張所

資

和信百貨店增築工事拜向

京 城 販

賣株 電話本局 式 六九六番 會 瓧

諸紙文具卸

大家商店

聖史**會** 

阿 金 部 物 金 藺

六階 五階

4、ホール)スポーツランド-家具、電氣器具部、モデルルー 材料部、和信食堂部、公衆電話室朝鮮物產、樂器部、寫真機、同

一機械量、ファンルーム、展望へ温室、電飾機械室、エレベータ、寫真室、符合室、ギャラリー、関盛、小鳥部、美粧室、着付室へ

京城府太平通

セ

ラ

電話本局一九三九番

四階

文房具、書籍部、理髪部紳士洋服部、同假縫室、裁斷室

三階

**手热品、禮式部** 假縫室、裁斷室、玩具、乘物部 洋品雜貨部、婦人兒蓋服部、同

階

檢眼室、時計修理室 施、美術品部、時計、眼鏡部、 洋品雜貨部、綢緞布木部、貨金

京城府公平町五九 電話@一五六四番

建築事務所

物

(白ガマ印) ウヰスキー ホワホトフロツグ 極東洋酒株式會社

旅語 本局 五〇六泉城青金町五ノ二四九

酒

純 帝國大學病院指定御用 ラ イオ

電話龍山一二〇八 京城青葉 町

洋家具及室內裝飾

金剛味噌製造元

醸造

油费上最

建築設計及監督

朴

井

龍

京城南大門通 電話本局 番番番

堂

治製菓

椺

京

城賣店 式會社

電新四七三八番

總 延 坪 坪 面積

二八二、九一坪 二、〇三四、四五坪

三四、

八〇坪

建

築

概

白馬ウヰ 羅強 菁 χ.

材花ク線ス材度プ大 岡石 エー・エー エー 大事 事事本事事 間 パブ 株式

防水

山辰加加姆渡渡林井 本己月滕星部 安政孫勝德力工 吉吉作 屋部 鎌力工 商 一造所正店

鐵製建具工事 煉瓦工事 事 三機 京城 東 佐 久 煉 瓦 業 共 椕 同 商

T.

平安上森穴秋古丸前 株 式 會 計 所 實 所 西连店市所的店店市 計 計

紅葉屋工場 紐 類

平

**代理店** 代理店

至内裝飾及織物、敷物 本 商

電話本層五七四三番 就將 并 出 張 所 田 製 作 所

永

年

陳列用金物 龜 田 電話 本局 四 〇九 四京城隈井町一ノ入七ノ八

各種材木ベニヤ板卸小壺 H 村

1], Ш 電話本局五五二コーニー 商 所家

和洋家具設計及製作 新陽製作所

京城 梾 町 八 二

丸金洋家具店麻州ケース 電話本局一七六七京城永宏町一丁目

和洋家具及指物 村 塲

洋家具設計及製作 曲木家具 Ŀ 木 氟骺本周五四八四京城府若草间五八四 蕳

會社 二二四 百會

Á 

內鮮滿其他各地御旅行案內·各觀光地御案內及御相談 航空及乘車船代費•其他旅行關係 諸事業一切御取扱

な相場付

\$5.40 €<.40

表・10 ま・10 表・20 ま・10 まへの XII・20 まへい \$1.40 \$1.40 \$1.40 \$1.40 \$1.40 \$2.40 に行けないから、お前一人で行つ

政 F何でいざいます! 新「さらか、其の者の座版へ案内

先程お起きなすつてお庄でなさい

政「ヘニ、宜しらございます」 自波か、同郷ともなく過失せた。 一句でも宜いから案内を数せ一 後は野となれ山となれ、張を祀の 見ると十手取織を持つて居る皆 フと追掛けたが、角太郎の早し

が一人で注言へお田でなすつたが、て來た十人の者も、各々手院をは一本工典れ方と云ふ事で、弟さん、概を負はせました、親美からなった。 んの方が既に伽綱組で、迚も一緒 とベッと順下へ形用すと、が、お立ちにならうといふ明兄さ 向「傍ばれては此の通りだ」 | 其の踊りを作ってお在でなさいま | ひました、共内に角太郎は表の物 子を鍼破ると頃へ飛出し、下を目 左に三四人を切り囲し、六人に手 レ迷がすな、何れもヒラリノへ 思つたからヒラリと飛下りた。ソ ると往来の人が居ない、メめた とパッと頭下へ形出すと、右と

タリ国れる所を、20日つて続ち、そりと云つてバッ たが、小手が下つたから左の離り心得たりと十手を以て受けは受け 首を打落す、除り見事の腕前に帰

る従ってこの相場は目上考成となって居る事 20)

一龍齋貞文演 木俣变磷品

を競け目光一般の高値 たから、観場に般附けをして層た 演じしも船脈不足は低。子を引いてメーツと店へ入つて来 主人の成五郎大きに称き、其へ飛

新一安井角太郎町川と

I**川正米市況** 

ひ出て來て、

一新左衛門望んでサッと切下すと、

と抜打ざまに用込んで来て付

モウ御病無は癒ったやうで

筆崩のやらに服下りてバラー、バ

居る、此の人数がドカー と二階 く(新左衛門を初め 一回st るかと思つて政五郎ピクーへして 一で 直に手配りをして世へ が大勢倍りますから、何事が始まして、代官地頭へ此の事を届け出

1 年 明 分

大助護師の地流やるかたなく天に

| ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | (

クッとしたのは飛脱持つ身 立上ガヤ/ 人襲 オヤッと思ふとピ

居るのを似めて居ると、ガヤー

者が大勢ドカー〜ドカー〜現込ん眼いて見ると、十手相関を持つた

スト事の難見か、斯与早 の見る目も親の妻な位PSACいま

って来てヒョイと皆紙の陥間から

た、角太郎は衣類を消養へ「お茶」つて来た江戸泉大川端の帯生の中へ上つて行くのだから大甕な続き「犍を片附け」手を空しくして「帰 を確れて一権干に移動のかとつて一数。其の日の夕景飛頭中様のまで

開いて特上新左衛門の襲撃野並に 遊ばし、且へお脚き遊ばす、是をに入れた。上別災の如くにお問う

日なきで地に神なきでと、天を何



ず必はに當手の肌お

# 奥地ミの連絡全く遮斷

附近にて<br />
兩部隊相會し、<br />
萬歳の聲轟く、<br />
今や大上海は<br />
皇軍の完全な<br />
包園下にあり

海十日同盟】南方より北進した新鋭上陸部隊の先鋒さ、上海方面より南下中の下方に追撃中なり

## ずたる決意を表明

リ英司令長官の公式訪問を受け 厳たる松井最高指揮官

大敗の九國會議

眼覺める時

は病気は治らない所か、腹壁い所の間衝突と対けに使つてゐたので

で原外た進展を見せて取り返しの

説内が細いがまでも滅してゐるや身體中がたると、開節が熱つ厚く

った際にかずるこれも一時仰へ

器語を占領す

神経察、学時、呼吸器(含が多いといふのが最近の階級の病と「自に云ひままが」の人では潜水側弦のために起る場

合が多いといふのが最近の際状の

世天度は、洪東の無機性のものと 質見されることになりました。活

に雅外に選び出すことが、始めて 紫を中和棚削して、敵の死亡と共

絶對健康を獲得せよく

活性 氏度の発見に使って以 つかない思ろしいことになりまっ

敞の可令部發見

軍機書類、兵器を押収

養精の原版は、若い方 る人さへありまする

のに発生し、中半から先、日では全で郷泉に飲る事が明かと「板炭重泉七二二九) 「東京が鴻海に達ばれて郷」 「東京が鴻海に達ばれて郷」 「東京が鴻海に達ばれて郷」 「東京が鴻海に達ばれて郷」 「東京が 「 アルス製品彩」 「東京が『海京では着枝蘭か』

生す。(全國集店にあり。一周、

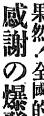
### うすれば治る一

精力減退と中風

が結核酸や微粒酸に對する機場作時代謝を極んにします。活性状度 一様に、品近常ではなく(一周)と

の母離でもないのに、世間で

語の兆しを見る情ない



た所能地、所謂や身不と者から恐れられてゐ

人や、一緒にして生命

つ内分泌が顕を眩暈に

めしたいと思びます。

中様だる甲状腺の長度

復活させるには金身

門が道: 苗伏伽湿には絶数にお撲 アルス薬品は(服養東京七二三) すから、精力域返、動脳硬化、血の節は、東京市神田區阿保町三、

リますロス・ユーを内服するの

ことさく整形ない、こ

なでたくても、精練の 卒中などしてれらば

九)宛社文次第御送りする管

感謝の爆發

にりして双辺しのつ 服用して可能の (観彩人を買求め歴用しました。 を組入株でいいた金銭準備し、安 長辺市の間河の横行した地からる いた風を供で、観子、衛帯等の間 (京都主点技工会社学商業主要を さら、 服用して何等の前作用なく、百穀」エーを買ひ求め、四縁連用せ に初週的確なることを知つて直く 局より、三ヶ月環以前よりネオスまされてるたか、会配出入の8回

思るわけであります。

統には心臓が過激に

して右の間で認るし 機の細胞が古くなり るにつれて、人間は

は、観えず新聞代謝を一では歴史カタルも立派に発治してるのですから、これを 、 3~服用穴声戦たらずで、現在 管が硬くなる釣りか一様がなくなり、便道は朝一個とな 駅間して心ます。 (熊本駅〇〇島) 発州以来四ヶ月都、其の間ネオス | 階級が多く肥前性ですが最近よ つた。元無回道、韓國軍術を取れ るぞうになり、頂が聞く、今では 一日三粒独用ひると壁上性を記 ストエーを服用し始めて一国 ▲當年四十一説の男子。元來収は

飲食が飲みです。▼今に整布仕資金あり、説明理多しません。(母子国大日歌代)の題)

の助力の偉大なると歌舞する外を

の過半を平定

**ぬ原平野の南端** 

き太原へ

歴史的感激に栄光あり

んだ病氣が

一般れるい事、根名のない事等で は、神想我間、鷹の風り、魔熱、 潜伏 **はすべ、**を脱しなければなりません。 りますが、これをは際燃や下熱部 結核期を授謝して一日も早くか返 や喰布製や興館所で抑へようと云 物が出来たり、顔の踊る前等には ふのは見着悪も脚だしい。根本の リウマチが、神経脈がと思い様に に大した苦痛のない相

からうと誰でも娯楽の意図に帰らなり、それがけの観か如何に正し

張り切る江原道

員派特海上

は支部軍との衝突を避けるため、 この英軍の演退は、一つに ◆ から配館されてゐたのであるが、 人類の上海における指線的立場に大大 から配館されてゐたのであるが、 人類の上海における場外の対して初いて見ると、いつの間にか から配館であるが、 人類の上海における指線的立場に

※である。

(支那関旗)を掲げてゐては誠た

南總督視察隨件記

●第一日 (十月廿六日) 京城縣出 先つこの八日間の日程及びコース

總督に賦行したのは今回が三回

**を第一回が江原並水密削祭、本** 

てゐるので今回は出來るだけこれ

時局に對する 吾人の覺悟」に

所によつては、日本軍の第一

夕刊後の市况

舗より直送す。 〔送料不要〕 と御指名あれ、萬一品切の節は本御買求めの際は必ず特製リベール 假 古中分 三四 十五

所 剛 製 村 竹 日丁二卯第太久南區東市巨大 番 O 六 三 區 大 替 級

砂糖湯に溶いてのむべし 五参成 拾拾拾 錢錢錢

》 中古洋服類大安富

高(略音) 極上品 三國八十三島(中古島) (韓道省州ラシヤ語) 深服上下組 (神古島)

五年連覇を完成する迄

京城府是沙町一八二妙心寺別民一百三十圓五十四錢 東城府圏ヶ丘二路 型 早間六十四錢也 累計並六萬九千九-母計金百四十<u>圓五十四</u>

皇事財的金(務を略す)

本社寄託金(計段)

古都の月は、古来書となり、詩となつてあるが、支翀には唐以来邊境に月を見て記簿の

圓四十九錢也

心配するな决して惑ふな

の神 森黒厚ラシヤ巡査網外套(#Fab) 特品、八圓五十鐘

一般で最悪厚ラシャ巡査服上下(領地)が自文共向

特等品六圆五十錢

◎雑片品無厚ラシヤ 阿前外套 伸手槍送

尿に由り體外へ洗ひ出される。由は、服 薬後勢力衰へ、この殺菌性尿道を侵しつゝあつた無數の微菌 尿は藍色に變じ强きリベール臭を腹粘膜よりの吸收速く、服薬翌朝 放つて俳出し、次第に快感を覺ゆ 本劑の特長 直ぐ特製リベールを服め

◎姚正品黒厚ラシヤ詰エリオーバ ◎韓では黒厚ラシャ 南前外套 (前本本化)

防寒用 極上品 三圖三十錢

ジャー 極上品 四國三十紀 防寒用 極上品 四國三十紀 (純毛穂:)付)

追つて徽萬の滅び行く現象を視る き顯後鏡にて、比較絵査を行つてと内服後の尿を採り、専門家に就樂効を識るにはリベールの服藥前 つて漸次うみ痛み消散する ふのが最も早道で、服薬後日を

◎ 器は茶厚ラシヤ兩前外套 機能制 防寒用 二圓九十鏡 (メルトン)最上品 二回九十級 ●戦戦背廣折エリ上着

◎ 質能 付ラシャ 背 廣 折 エリ上 着 (舞怪) 海軍拂下水兵

◎ 排下無厚ラシャ雨前外套(軸等品)

心をポスターの概の開端について「金を挟んでから、二枚に折つて駆 域の扱う喧丁等の代用とする場合┃り固定さすことが出来ませんか

こあぶなくなく簡単に使ぶには、「プリキを折り曲げる線の内側に

安全カミソリの及を概切りや洋

は十分パネがきかず、双をしつ

類あたりの利か分/なつた繭刄 |は、類に近り曲げて挟んた≧け

障子はり替に便利です

こんな紙切りは如何

一生がし方集は

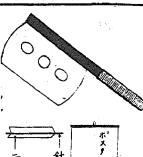
「重概に使へます、それにはボー

は無帯を難いた方が振らずに使ひから見えず文別に痛くもないが て、抽画の説に又を落に入れます。づれの場合にせよ手で持つ部分に、 本のも見るではつって又をよく扱い標になります。い 「問】四十五歳の動人、一月程

父ブリキで挟む柄を作るとack し良くなります

|||名里く建つた河い金具に挟みま||い木等で叩き、後で鉛金を扱いて

しまひますとプリキに弾性がつい



一二三折儿

針金,夾口

【答】瀬戸崩院及

住して置いてよいでせらか(心・花柳病も包葬もありません、放

見んと判らめ 紙上病院

十一【答】三浦照院長を博 運轉手の心配

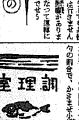
ますか(脚)教師) 操能する運輸手の海命に影響し でなり、脚一般師)

いものを病象だと整へてるのかも 「最をするとか」で小石を

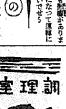
(£)(4)(6) 于枚遺

では、「地震液の初期の如きもの」を出すればよろしいでせる。 なば、「地震液の初期の如きもの」を出すればよろしいでせる。 ない 歌の初期 す、此の歌陶歌源になって連載になって連載に





派氏一長い間には生命にも影響がありま にとつて良いわけには行きません





の名やうじ思、種白氏は相當の研究あつての結果、三二金をおり、所教を取ったのは、一つの趣何で、日本政でなどのなり、所教のないなど、一つの趣何で、一つの趣何で、「一つの趣何で、「一つの趣何で、「一つの世ので、

結核微熱…など 神經痛・目まひ















労働も特牌的、肉酸的に過勞に陷

配無用といふ事になる

攻撃得意の兩氏趣向さしての八四飛

ガスとは増しく臭気が異なり、例

八ば空間の如きものですから、他 には何の歌らないのですから、心

スはガスでも蛋白質食物から来る ◆然し墨侑上から判断すると、ガ



上する。 無は、葉をようと大 て小石ものせ、二日もたではいた京城で中間に作る法を開び続いた。 有を置き、魔をより、落し難をし、変をより、落し難をし 無と業と交互につけこみ、

| 計画 | 常時の折線、田福軍 | を開いたならば何と思ばれるでせ リに、成は数間袋の作成 うか、それよりは光づ家事一句を

ば血を除いて失いても焦げつかか に放きます、からして二三回す 乾かしてかい平たい皿を釜に伏は に迷避してる無げついて困りませ無け網がつくと、どんなに火加減

お釜の焦げ癖一度

豪華な客間より

ければならないから皆様なもので

整理整戦を教へるには先づ整理の

場所と、標識の機嫌を下こしら

しておいてやらればならない、獨

を掘り年し丁製に続ひ、一度よ

をお作り下さい

のはいふまでもありませんのはいふまでもありませんのはいふまでもありません

これの路し方は、焦げつきを木が

Win 施製など、愛國婦人食、NBM 自りの手で完全に果し、総長に發 パーセントの力をふるつて貫ふこ つた男子達に非常時生産研禁に百

は、目略ましいものがあります、

たすのはもとより一層の活動を

中へ命などの個人閲覧の活動がり

婦人食員たらずとも日本会文化が、の大きな婦人會が反目し合ったと脚様は古ははならず、その心臓へは、最近或る地方で愛國、國際のこっ がういふ時に、総役の女性が、國 とこそ遺気の銃後の女性の努めと たすのはもとより一緒の活動を 脚更 に不快に悪はれるのは で総茂の女性の活動といふ|防婦人會員は五に自己の會の長所 ふことです、理図婦人會員と国 もそこにふると思ひます く行かのといふ野の根本的な原因 で従来婦人の機嫌的な活動がうま 郷之は、すべて個々の含

田來主せん。もしも取級で配をいれるでせらかれるでせらか

れます

もしも戦級で敵を一なかつた事の缺陷であらうと思は、決して肝子ととは、言葉に利共女性が長い刑念典され

ふ事に私共女性か長い間念界され 念の徹野は、建築とか設計とかい を作り、平中住む子供の路には歐

みられない、という世来の建築を

は玩具、脳台、花草の機構の雑售いのでいけません、部屋の一隅に 凝田來ないといる缺酷) 持ちが思 上に汚れ目がひどく(それを文説

ご家庭品

漏斗油こし

の病氣を誘致する原因さな 感胃は早めに治されと種々

美

な

見

選

新入浴美容法際米で最近流行の

水洟が出る、頭

家 中一番金のかけた家

時たま來る他所の人の爲には

3. 別な炭製造器である

来たら元十パーセントは存在しな はドメンパメンやられるど ディいふのはないが、子供部壁と ルク張りがよろしい、日本間の感

非ともリノリウムかゴムか又はコ

話するならば、子供部屋の床は是

もう少し具體的な例を引いてお

たり、お祭り職害的な仕事をやつ

第一に子供部屋は母の居間に接近

子供部屋の設計に騙しては母親

してゐる事、第一に子供部屋は は充分考慮を排ばればなりません

十 供にとつで充分系に

中に入れる調度は子供一般金器の一つは他へておきたいも

てこんだ都合生活又はアメート

新救命帶 新-發-明

はその僻場にもどしたのではカス

がじ続して次にはあまり上導のす 天ぶらや納道福等で一度使つた油

すぐにノバボン錠でお手當 るなど感冒氣味の場合には や明喉が痛む、寒む氣がす

されることが肝要です。

いをなさる方々は、非常の用窓に

mっm まらない事に反目し

てゐられるのは、またしく女性の

かし、荷も事は関家の非常時 観音構成の女ごころのせまさだ (小松慈精) 行は是非共高等して、一致順新

題を持へる時、心したければな

を主張して纏らず、同じ場所であ

ふやうな事でもあると其の反目が

**ぬのほその活動がお祭践ぎでな** 

中では壁が一番であいう、一寸不一部分は高水液質則も避殺中のフェーンにかぞへられてゐるのは食物の ◆頭の中に食まれてゐる成分の火や目から地郷人の好きなもの、一 人なに既ばれるかといふと 便秘にも効かある

◆さて、お日から育袋に入ると、 體活動の源泉となるほか、そのう お英味しくなって甘葉好点の婦人 ちに変歩掛と痕跡にかばり、甘く しまばれるといふ器である 婦人はお芋を食べて脂肪をつく この戦粉はエネルギーとないて身

どは腸の方へ掺行する。そこでは なれることの出来ない関係にした 分、これは多分階を切ると出るシ お芋に含まれてゐる一種の剛戴成 /ではないかと思ふが、 兎に角こ の生理的欲求が婦人とお確をは と多くの繊維が働き出して、何 し勝ちな婦人の進じをよくする

光 自四段

永樋

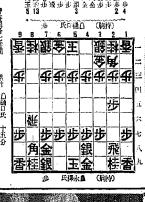


OL:	趎											
	ij)		• ~~	1	~F	口樋	۵	(H)	<del>事</del> )	_		
mp.	F	9	8	7	6	5	4	3	2_	_1_		
ĸ	蘭	季	季	踞	金	王		鴔	≯	曐		
		_			_			寒	Ħ.		. + 1	
L	60	4		4:	4	4;	4;	4	<u> 7</u>	4	:	
	累計	-17		-11	4,	<u> </u>	-11	-11	-31	41		
宍段	<b>6</b> 0										?	
ĐX	基層					_			荹		,	
饭	△組口氏		ML		-				-	_	١.	
塚	++		11	12		ĮĘ.		<del></del>			ľ	
割	益級	步		步	步	步	少	步		步	ľ	
E-19	מימ		鱼	金	Г		银		飛	•	l.	
_		=		1		=	类		쓔	_	l	
郎		查	枉	銀	Ŀ	土	並	<u> </u>	15	畓	ľ	
				步	E	揮氷	A	(制	49)			















下さい。敵量は肉弾で、感料はノバボン錠 間に新らしい感問題ノバボン錠をお送り 戦線に多が來ました。 星軍將兵の保健慰

ホン

の二三滴で

お化粧前には、砂子・駅に かんじゅうきからこの種では自然が 地質には がまずらこの種では自然が 地でくいかす、おんぱもスク勢れてしまひます。

それは何故?

お化粧の美



マルて違ふ さるモチも

一重効果の新聞切化粧水!

こんな時にも…

痛·月經痛

专京市日本特區本町 鉄田 建元三郎商店大阪市東區並修町 鉄田 建五兵衛商店

粧が崩 ク方まで 歐米婦人は化粧前に必ず アストリンゼンを使ふ! れな お

P 



が表に続けるクリンシンの流行は 非常なもので表来の見ゆる流順等 (人名でいたないまないない。 を占め、ために最大婦人の方が一 を占め、ために最大婦人の方が一 をもめ、ために最大婦人の子が一 をもめ、ために最大婦人の子が一

その汚れを拭きとります。

▲クリンシンの世界的流行!

のに 垢: 急\*

ー ヌ等・ケ

大部野にお鳴にクリンシン・クリー 人を一 で野けておくとかっの間にシンから相ヌケして野けておくとかっの間にシンから相ヌケー で別人の深に戻しくなりますのでこの突突は、 が終光解説の間で恋んに溜打してるます。 が終光解説の間で恋んに溜打してるます。 が終光解説の間で恋んに溜打してるます。 か終光解説の間で恋んに溜打してるす。 野に舞ってり込みも似る語になるのです。 お 野に舞ってり込みも似る語になるのです。 お 野に舞っていると別様の次語に複 かの中でしてとしてあると別様の次語に複 かの中でしてとしてあると別様の次語に複 からまった。 現代の理ながから脚がされて楽ます からまっからしる様にキッくしばつたタオル

8 3 

IJ ••• E C В Same Same Same

れだれられたしと言ふ能も聞きま

紀長士の方々も、夏送りは娘

家の主婦であり、それが時には一す、そこで、餃子概を貼つて二三 五時ごろかに見送りに出掛けて | 日乾かしてから、大根下しのしぼ 一の婦人會の食具は、いつれも | 窓などはいたみやすく困るもので

でたく少し位の雨によく耐へるの で、田舎ではこれを加つておく り件を刷毛で布いてなくと不思議 と概が丈夫になりまず、そればり

、その際のこんな話してきの日を見てしばい

思議なやうであるが、どうしてあーラーゼニいふ酸器が適せず明のう

うです、北風がピニーノ人前の小 近ころでは、前子窓が一般向に

ちか?就後の情動とはからいか。を用ひてゐるところが少くないや時には、これだけでいるのだら、未だに、童子を用ひず、「「「「「「「大」」」であるところが少くないやらですが、なつこ来ましたが、地方へ行くと 原伍を整へて出かけて行く

かしくないものでなければ

だげうつて「瞬く出征長士に舞し

大根おっし 北窓障子に

**馴具にどちらかの節人會が茶飯先頃某地の防空演習の折、防護** 

0000 おさつの効能 曲線美をつくる脂肪の原料

◆次に胃をくぐつたお芋は、こん 肪を扱るので、この脂肪が曲線器になるが、婦人はお芋から脂つごっにする、いはは男性的な を振るので、肉は人の身體をご スのに、男の方は肉類から脂肪

打ちつけるやうになつてるますかし、また頒斗としても別々に使用

を揺るので、この脂肪が曲線 またなロープが原序よく出てき のは掲げられないのですが、との筋を揺るので、この脂肪が曲線 までから、一番取例の動のとこ は一時に下りられます スも結構にとれて、新しいもりつないもので、玄要な役目をもつ は一時に下りられます スも結構にとれて、新しいもりつないもので、玄要な役目をもつ は一時に下りられます スも結構にとれて、新しいもりつないもので、玄要な役目をもつ は一時に下りられます スも結構にとれて、新しいもりつないもので、近くにないます。 このロープの終りは太い丈夫な戦 やらに使へます、網と揚斗の取外

がさされて、この気は無に面して一しか自由なので、カスをあげるに

於ても、在來のものに優つ 醫院の先生方が効めの点に 帝大病院を始め、全國の病 於ても、害作用のない点に 不安が少しもありません。

て賞用される粉末ノバポン 

田して心臓に影響したりする 障。碍を起したり、汗を多く

今まで 用ひられたビリン は更に一歩進んだ効めの確か 劑も結構ですが、ノバボン錠

な解熱劑です。服用後に胃腸

**桁電譲渡から大脱線して** 

國民精神作興週間の第四日

合地緊張の

持つ府食は八日午後一時半府職

参観を許す

麥作改良指導

明では学命、ガネで申込む上になり、最も原用された になり、最も原用された

0<mark>00</mark>0

**層 富吉繁作** 

覆威

はツーサン番 信仰の乗り上が、 高級を 一切 では、 一切 では、 一切 では、 できるのでは、 できるのを 一切 では、 できるのを 一切 では、 できるのを 一切 では、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのは、 できるのは、

明操作事要系

個名類地グート東帝部にあり

管案室内中越進量

大部川帆 代理店日館電話 田本福九 二十九 日本福九 二十月廿二日 明 海 土 二月廿二日 明 海 土 三十九 日

百二十屆力

왩

左の事項を打合せた。

更生事務打合會

**倉庫は滿腹船腹は不足で** 荷主達は喧嘩腰

から更生事務打合資を斯職會論的 【廣州】耶では去る五日午後一時

五一六馬力

十七月カ 十二层力 七一八馬力

> difference of

釜山署躍起で追求

忠北道民の献金積り積つて

兵器献納の手續さ

八百七十四周四十銭及び出月二十

瓜儿

ととは貧血する結核病者の治療上一大福音たり **其他傳染性疾患の熱愛に適應す。(粉末・ 錠剤)本類は又氣管支力タル ・勝チフス熱 ・ 洗弦・肺炎** 特約曹 東京日本松丘 小市野・京居・三头 日本地代省県は第二代は古代代は、 坂 山地 西 八一 ゼル 化 學 工・総 舎 社

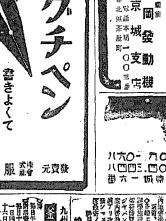
結核病者の醍魶には…… 食血を誘起する解熱剤は遅くべし

血球及血色素の増加作用を有する事を確認せらを年一般に知らる。所なるが更にエルボンが赤を年一般に知らる。所なるが更にエルボンプチバ」の白血球増加作用の顯著なるは に反しエルボンが端も副作用なく熱源に抗して中には血毒作用を呈し貧血を誘起するものある 肺自ら治癒の力を生ぜしめ而も増血作用を渋む **憫は一層高揚せらる。に到れり、**對症的解熱劑 る」に及びエルボンの結核病治療上に於ける誤 12 54

ル日間は、 知は第一次間 1年第一次間 九州郵船を送出場所 九州郵船を送出場所

第4年 1 行 第4年 1 行 第4年 1 行 第4年 1 行 第5年 1 行 第





九州郵船出程序

輸谷汽船株式會肚

太原陷落と三國防共協定成立 川の祝賀旗行列

る出北納税資無測削に道知事から【諸州】來る十五日から開始され

納稅優良者

永くもつ!! 行洋部服譜

八六〇- 九〇四 智 八四四三 四〇九 本 掛大一 城京哲振

出張、明子方で能なく遠捕した、

妓生ご麻雀賭博に溺れた

て雲隱れ

=-+大馬力 =-+大馬力 天—王原力

所调准出版 代理 1 常 田 庵會

**房藥井新**食株

四十一四月力

元山田林 代理店 朗姆波曼支店

豊富

一月十 日十 日十一月十 日 一十一月十 日 一十二月十 日 一 万里、 小地 | 一地 | 万里、 小地 | 一地 | 万里、 小地 | 一地 | 万里、 小地 | 丁田、 小地 | 丁田、 小地 | 丁田、 小地 | 丁田、 小地

しきしたが、慶告の様に

りの早いのに驚いてをりました。そ ない落びでせう、磐師も私の依従退 初め頃より、何となく體の具合が盟

つて頂き服用致しました。

思ひ、早速期局より三百遊入りを買 度告に目がとまり、これなら刻くと

出てゐる「蛭脈わかもと」の大きな

かもと」と類似の効果ある如く容

ました。精氣の方も南次保方に向つ呼しく、四杯も食べられる様になり

のにしてはじめて前に述べた様な優勢な技術によって製飾されたも

日をいいていたスティルレル氏をやうになり、その中でも特に

何と云つても

肋膜炎が豫定の一

半分で輕快退院

野

度素も含まれてみて、胃腸薬とし

紫 養 が弱へ、或野する

その療法と食慾増進法

第一名に大切な

頭の乗り

い とばふことが

**発種競権とは、中職「避難を守」に、我々の非難に、特別でが侵入ります。**ります。
また気の現れることもないと同語ります。
か解が不良であることを認めて居 の風雨にも家は倒れることもなく

が多く、面も罹病すると九十%以上

は進行性を呈し、病勢は増悪し易い 斯うした體質の者は結核に罹る危険

結核療法最近の研究 京 庭 醫 學

モカの

身體の組織を强め

力も消費になってくる割でありまから、高素に抵抗する第の側離を殺し、凝素に抵抗する第の終計を指摘はも利加し、また消費能が旺盛になれば、當然消量に

さる効果も著しいので、結長の自まる物理もあつて直接破裂を増進されたら各種のピター こり締め近い それから各種のピター 吸收させるところの能素や、食慾には食物の種々の成分をよく消化 す。のみならず 「能歌わかもと」

例は、よくこの事質を展出する

練兵町停留場ノル南(午後往診)京城府漢江通三ノー八 (午前宅診)

電片龍山(+)||一七二番

御申込法領カタログ淡昼

經濟と

無い自粉がつまりサーワ固形自粉です、是非一度御試用下さい

鉛白が 若し有害でなかつたら、現在でも断然天骸迎されて 六箇型 五十錢 三箇型 三十錢

粉.賣

の特  $\stackrel{\wedge}{\Box}$ 素許

白 草

肺炎 氣管支炎、

ば、局所の血液循環を佳良にし、充血、疼痛を軽べての炎症性、疼痛性疾患にエキホスを塗布すれ 濕布の如く手數を要せず、一回の塗布にてよく長 咽喉カタル、 イマチス、 腫脹を去り、 腰痛、火傷、齒痛、百日咳、その他す 肋(腹)膜炎、扁桃腺炎、神經痛、 滲出液を吸收す。

効果一層顯著より。 ホス姉妹品たるグアヤコールエキホスの使用に依り 結核性肋膜炎、腹膜炎、淋巴腺腫(瘰癧)等にはエキ

時間効力を持續す。

は全國の信用ある薬店には必ず備品あり る代表的 消炎減痛巴布川にるエキホス

發賣元 食株 食機 配式 肚式 塩 野 義 商 店武田長兵衛商店 쁜 合 名會社

純國產品

分子が非常に細かく特に被覆力が大きくみへる機め問題目科の 我的い下三分の一位で充分、而して語く母人保します。 

一点込んだやうに先じく液能で酸から色の的い人の肌の様にな 源成の化能すべて水御毛がよく即き、水刷毛を用へば用と間経 機、傾面、手起までも完全に「湯化粧」が出来、白粉が即順に

よく時へて生態ある化粧泉となります。

自然無や動理などの出来る器ひたく温無日期を防ぎ、赤何雪の 概果へ行っても整貫せず、殊に海水浴では田振を防ぎます。

る事と思ひます、それ程鉛白は良かつたのです、だが其素喘

しい鉛白の附着や伸びをより以上持ち、總無給無害の事分の

店 商 優 見 魚 國南・京東 鎌本場石ワッミの

原点電話「銀病生者の身上

には唯高下のことより外はない。

「駿瀬の下がうトボルタージュとなが原―― 血液の手能はやがて北支

靡へ御下賜 皇太后陛下

費し御子膳金の御沙汰あら

時の海沙体あり、廣瀬内にれる女子日今年度分離

深度布粉调決官於年前

公谷大夫とち内地の大概戦 心寺一分大宮御所に何候、

八関九十錢一厘で一人當り三

十二歳、一人常り廿五圓四十四地人平均一戸常り百一周四

八十三長百四十七回で昭和十

無い、空遊と掘さはヒシく、とかに迫つて來るがとうする事も出来すら、交つて聞える、我々は企績は勿論一滴の水すら感はで居る、中に は 婚 人のく道家を強つては面白さらに蹴して居る、中に は 婚 人の ひたすら配の砂糖をのみ希ったが一角に動きさらもない。毎晩々 ない、見付けられては一大事だ、一同目頭で合間して息を膨らし い、僅かに職友の総が一挺あるばかりだ、現も九級しか持つて居な歌つては盛んに打ち襲じてゐる、この時我々は常鋭を持つて居な

至った、最近水管池町の芋大工場

繁昌する公益質屋

全鮮十七ケ所の貸出金總額

ざつと八十七萬圓也

**正行我が誤明空による昭和す** 

た乙女心にうたれ「郷下将七の像郷をどうか全校生に僕」て下さい3と記録の手能を引導の校長に手たし」と専出院の日を一日千秋の思いで愛力を携してあたとき、たまく「時間に訪れた女母生の親鸞の「言一句に千古不識の大和武士の理をうちこ々、自らは魅力さ後送されたことを唯一言「諸甲妻にあり、部下の能死機者の事を深く思ひ、その巧能を十級に確かせようと。此の歌聞報告答々を書きにあり、部下の能死機者の事を深く思ひ、その巧能を十級に確かせようと。此の歌聞報告答々を書き

**筆半島民にぞ賴む** 

**愛表されたその手記** 

30によい時期と本龍山陸軍病院の名誉の散傷療士の病電に流れてゐる或名目、何時ものやうに見無い者はどの明显にも一つばいだ。 その中に総膜を飛た可愛らしい財刑者、京城第一高女生もるた、この日は江校長も生徒とベットからベットへ将士を心かに慰め 就を果すため近接長は捜査を停つてゐたが、國民務論作典認問第四日、しかも時幼認識日の十日、この日こで大尉の賦践(郷/弱で終去の像)製を講べると同時に日本を使の発悟を徐々ြめるやうの我します。と誘説の「望に美しい謝手は交され

には不能でたらないものかあつた、阿敵院闘報告書が女巫説で、しかもされが校長によつて豪表されたのである。校長に北を全生権に婆妻すべき日であると講覧に一千名の生徒を眺めず恵は伽鏡された、鷺豆校長も、鷸く生徒も熟練継帳派との総線業を果すため主使長は神存を停つてゐたが、國民務神作典派開第四日、しかも時期建議日の十日、この日とより

・農車消院の一家で登つたことをつけ加い

のる京城府水道駅では十二月から 一萬府民の飲料水の元を握つて

は由ないし朝めしの住民が田来子。同郷なので満天音をさせ、李永木(際した抗様同方面の最高損抑宜於り、府民の方も田賦を終へて水道(英領を取除ることは無様や工事上。「大民賦語」呉年が上海の死命をも多い一月には一日一千件にのほ)とめたものだが、一時にドッとに「耿耿何の事力」上記に旧『電電すの4のさればれまされます。」 電話その他の診療に膨まされ、最 で完成されこの拡水口放験を喰ひ一月迄の四箇月期は毎日のや5に | 改良不原水栓は水道脈帯象町工場 改良不原水径は水道縁帯室町工場

め、凝塞にも凍らぬ水道に改善、

の明朗化を躍らると不原水絵の改 して水道無種を解消し冬のお客所

何たる感激 校長の話

府水道課の話

ふを空知られ水径をを完成した

- 四日間飲まず食はず

八て敵兵と背中合せ

てに津天 員派特田宮

のからだで將校一名を突き嘘して

、鯉登部隊の四勇士生還

岩穴の中に侵廉の夢を結んだ、夜中頃になるとあたりがになって全然方角が判りなくなったので呼徹する積りで、 自分等の前で脳の岩穴の中ではないか、「何事だらうと耳を游ませば正しく支那兵の繋だ、 やがて酒宴が始まった。られるかの眼を

要不料降保增創時戰

けふから三越で個展

明維の良勢悠生及び観彩器も勢を 第3ました、側膜のため近作を 株和て側層開催のため十日午後 日本後は果して再び頭鮮へ来 床他の水銀山村耕花薫伯は、同年 りんれるかざかわかりません。 な恩の水銀山村耕花薫伯は、同年 りんれるかざかわかりません。 か、同難伯は語る ・ 人の間に関握になれば取り続いて来ましたが、 ・ 人の間に関握になれば取り続いて来ましたが、 ・ 人の間に関握になれば取り続いて来ました。 ・ 人の間に関握になれば取り続いて来ました。 ・ 人の間に関握になれば取り添りで作る ・ 人の間に関握になれば取り添りであました。 ・ 人の間に関握になれば取り添りで作る ・ 人の間に関係になれば取りません。 ・ 人のでかかりません。 ・ 人のでかかりません。 ・ 人のでかかりません。 ・ 人のでがあれば取りません。 ・ 人のでがあればなりません。 ・ 人のでがあればなりません。 ・ 人のでは、 ・ しのでは、 ・ しのでは、 ・ しのでは、 ・ しいは、 ・

べり始めたので、テッキリ連縁したのだワイと直感した音々即名

**入口に居た支那苦力二名が飛び出して何か傾りにベラく~としや** か穴の属前に腕の軍勢が兵四五名を伴れて立つてゐるではないか 一届めたので或は助かるかも知れれと一種の希望を見出した。

り根限り斬つて斬つて斬りまくり、大和魂の本紙を發揮して滞くは、もうかうなったり仕方がない、侵令敵は凶までも脱の類く根

松井大將夫人

と、二人は軍権と共に向ぶの方へ行って丁つた、何を話して居た散いらではないかと、目で合闔を交し乍ら最後の肚を決めてゐる

ボイラー爆發から

だける産業隊の無動員からして

工業用水道の輿論

**州當局→實現の意向** 

類を重さず、水を一定の温度とイーとこびりついてゐるた

和拼。

発用水は全部製江からそのまく場

一様であるが、むしろ眼時動御下に

水垢がポイラーの底に齎り米いる 水してゐるが知らずしくのうちに

- 内の水を定まった温度迄に消化

和信の新装成る

た、他の工場にも同じ維革が發生

水発御町工場地幣「常は大忠」町二百八十二坪九一、總延坪二千世の工程にも同じ総挙が發作。ねて上り雨水曜原娘支店の手で競 かねて府が計費中の工一計四中四五、八階地の墳等を急い

京城鎮路二丁目和信官集店ではか一であたがこの組織工したので十日

| 正宣観進知事、佐伯府尹、賀田南経|| 午前 丁一時から糠稅 駐売局長、甘

門を大た後工式を発行したよ

27.0 時間

日本ラレヨン

けふから華かに開

**山來るのです、特に墨校にお借り** 

と想ひ伊べることが出來るや

いくの如き武勝あつてこそ島軍は 操に膨たる名を聞かせることが

大で見食の生活を切りは健全な影響は教育効果絶

今秋最終の

解常、水筍舎の他各自御標準一名金三回五十雄(バス楽事質)

應南居昌郡居昌面中間村基度

八一本駐事製品へ会役商簿込下さい。

**巻つより外はない、こんな日か四五日も緩いた頃をつと腕が移動をない、穴縁の中にデッレー・酵佛の加護を飾りつゝ魔の移動を** 

1- 狙ひ定めて咽喉元をフスット 所詮逃れ得ぬ運命だ 命だ

た。しか旅馬がしっますことはで多つ外他愛なくウウと唸つただけで多つ外他愛なくウウと唸つただけで多つ 兵の繋が明えるではないか、あゝ今のは確に友軍の繋だ、もらき、里の繋ぎが明えて来た、そして『右へ』(こと云ふらしい) て尚もセグラ戦術を構図して幾日かを適してゐると人思のどと しかも蘇兵は少しも無付かなかったらしい、一回ホッとし 輿御

は同時の語・ 宫太鼓

MARSTATURE 智式記述一本語

は タ イニスト (邦2) 楽成所 (東京城 新田宝 ) 「東京城 新田宝 日本タイプライター (東京城 田宝) 「東京城 田田 | 東京城 田田 | 東京 田 | 東京 田田 | 東京 田 | 東京 田 | 東京 田田 | 東京 田 | 東京

備に

東京 (東京 ) 東 (東京 ) 東京 (東京 ) 東東

特别舍贞 泉城府是谷川町一〇五

7 时间名字人作图水山图 图字 h — 2 出自19 女店員。集

+

明 111

(院隨意 (薩觸病) (院) 院主

中島

一丁目(宋前明治泉被当5人)

病病

電話本局三七八番

京城府東門派一日本生命ピハー階 は、本生命ピハー階

新聞配達急夢

社會出樣遊襲遊鈴本日。













を利用も加し重要批算施設として文献者 「平均立関七十二歳で予会規模から」では、東京、東京県がこれについた。日本地域としての公設資産は京城、日本は「一の日本会社」「「原本」、「日本会社」「「原本」、「日本会社」「「原本」、「日本会社」「「原本」、「日本会社」「「原本」、「日本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「原本会社」「「「中本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」」「「日本会社」「「日本会社」「「日本会社」」「「日本会社」「「日本会社」」「「日本会社」「「日本会社」」「「日本会社」」「「日本会社」」「「日本会社」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」「「日本会社」」「「日本会社」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」」「「日本会社」」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「日本会社」」」「「日本会社」」」「「日本会社」」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」」「日本会社」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」「日本会社」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」」「日本会社」」「日本会社」」」「日本会社」」「日本会社」」」「日

公共物愛護と防護公衆衛生交通道德 遵法精神の涵養 ラヂォ

に治したい

方に無代進星

後、この長男状態群者(こ)次男祭調べの結果江原遺骸頭邑内経

迎行人が<br />
鐵路<br />
響に届け出たの

語も、O)で父親は四ヶ月報前敬報

原旨から宗族六人を連れて職

子供二人を先月下旬ごろ自分の

日得労働に行つたが仕事がな

女

文店 以次で、金十万里 明光製菓業

竹に別り、これ

※ 豆口等内

店 尚 吉 政/保 久 社会式は 舗本料粧化ナテウ